

区民委員会

情報連絡別添資料

令和元年6月25日

文化・読書・スポーツに関する アンケート調査報告書 【概要版】

地域のちから推進部

目次

第1章 調査概要	1
1 名称	1
2 目的	1
3 対象	1
4 方法・期間	1
(1)一般区民向け調査	1
(2)小学5年生・中学1年生向け調査	1
第2章 結果の概要	2
1 文化・読書・スポーツにおける関心・行動の実態	2
(1)一般区民の実態	2
(2)子どもの実態	2
2 文化・読書・スポーツにおける行動がもたらす効果	3
(1)人生100年時代を心豊かに生きるための6つの要素	3
(2)子どもの逆境を乗り越える力	4
(3)子どもの自己評価・自己肯定感	5
3 文化分野に関する集計・分析結果	6
(1)一般区民の文化芸術の実態	6
(2)子どもの文化芸術の実態	7
(3)保護者と子どもそれぞれの文化芸術に対する関心・行動の関連性	8
(4)子どもにおける幼少期と現在の文化芸術の関連性	9
(5)関心・行動別にみた文化芸術につながるきっかけや施策	9
4 読書分野に関する集計・分析結果	10
(1)一般区民の読書活動の実態	10
(2)子どもの読書活動の実態	11
(3)保護者と子どもそれぞれの読書に対する関心・行動の関連性	12
(4)子どもにおける幼少期と現在の読書の関連性	13
(5)関心・行動別にみた読書につながるきっかけや施策	13
5 スポーツ分野に関する集計・分析結果	14
(1)一般区民の運動・スポーツの実態	14
(2)子どもの運動・スポーツの実態	15
(3)保護者と子どもそれぞれの運動・スポーツに対する関心・行動の関連性	16
(4)子どもにおける幼少期と現在の運動・スポーツの関連性	17
(5)関心・行動別にみた運動・スポーツにつながるきっかけや施策	17
6 3分野を横断した分析	18
(1)読書と他分野との連携に向けた分析	18

第1章 調査概要

1 名称

足立区 文化・読書・スポーツに関するアンケート調査

2 目的

文化・読書・スポーツ分野計画の策定に向けて、各分野における関心や行動の実態、足立区文化・読書・スポーツ総合推進会議でまとめた「人生100年時代を心豊かに生きるための要素」に対する意識、各分野を楽しむ区民を増やすための方策などを把握するため。

3 対象

No.	対象者	配付数	有効回答数	有効回答率
1	16歳以上の一般区民	8,000件	2,842件	35.5%
2	区立小学校（9校）に在籍する 小学5年生の保護者・児童	625件	541件	86.6%
3	区立中学校（7校）に在籍する 中学1年生の保護者・生徒	721件	550件	76.3%

注1)本文中の略称はNo.1を「一般区民向け調査」、No.2、3を「小学5年生・中学1年生向け調査」とする。

注2)「小学5年生・中学1年生向け調査」は「保護者向け」と「子ども向け」の2種類を実施した。

注3)No.2、3の調査票は同じ。

4 方法・期間

(1) 一般区民向け調査

方法：対象者に郵送にて配付・回収

期間：平成30年9月28日（金）～10月12日（金）

(2) 小学5年生・中学1年生向け調査

方法：学校を通じて配付・回収

期間：平成30年10月1日（月）～10月12日（金）

第2章 結果の概要

1 文化・読書・スポーツにおける関心・行動の実態

文化・読書・スポーツにおける関心の有無及び行動の有無に対する回答に基づき、以下のとおり「無関心層」「関心層」「行動層」に分類し、割合を算出した。

< 「無関心層」・「関心層」・「行動層」の定義 >

	関心あり	関心なし
行動あり	行動層	その他
行動なし	関心層	無関心層

注1) 文化分野の「行動あり」は「過去1年間で文化芸術を鑑賞した」と定義した。

注2) 読書分野の「行動あり」は「過去1か月間で本を読んだ」と定義した。

注3) スポーツ分野の「行動あり」は「過去1年間で運動・スポーツを実施した」と定義した。

(1) 一般区民の実態

一般区民向け調査

文化分野とスポーツ分野の傾向はおおむね類似している。読書分野の無関心層が他分野と比べて高く、関心層が低くなっている。

< 一般区民の「無関心層」・「関心層」・「行動層」の割合 >

	文化	読書	スポーツ
無関心層	19.0%	<u>29.8%</u>	19.9%
関心層	18.7%	<u>11.6%</u>	21.6%
行動層	45.1%	43.3%	46.5%
その他及び無回答	17.2%	15.3%	12.0%

(2) 子どもの実態

小学5年生・中学1年生向け調査(子ども向け)

文化・読書・スポーツすべての分野で行動層が5割以上となっている。一般区民(16歳以上)と比べて、子どものほうが行動層の割合が高くなっている。

< 子どもの「無関心層」・「関心層」・「行動層」の割合 >

	文化	読書	スポーツ
無関心層	0.4%	19.2%	10.4%
関心層	9.1%	4.3%	9.7%
行動層	<u>85.5%</u>	<u>50.0%</u>	<u>63.3%</u>
その他及び無回答	5.0%	26.5%	16.6%

2 文化・読書・スポーツにおける行動がもたらす効果

各分野がひとやまちにもたらす効果を検討するため、人生100年時代を心豊かに生きるための6つの要素「子どもの逆境を乗り越える力」「子どもの自己評価・自己肯定感」と、文化・読書・スポーツにおける関心・行動の度合いとの関連性を分析した。

(1) 人生100年時代を心豊かに生きるための6つの要素

一般区民向け調査

すべての分野における「行動層」は、「無関心層」「関心層」よりも総じて「人生100年時代を心豊かに生きる6つの要素」を有している。

< 人生100年時代を心豊かに生きるための6つの要素の合計点の平均 >

	文化	読書	スポーツ
無関心層	20.00 点	21.91 点	21.04 点
関心層	22.59 点	20.48 点	21.43 点
行動層	<u>22.95 点</u>	<u>23.04 点</u>	<u>23.00 点</u>

注1) 人生100年時代を心豊かに生きるための6つの要素に該当する6項目を5段階で自己評価させた。

注2) 肯定的な回答の「あてはまる」= 5点から、否定的な回答の「あてはまらない」= 1点を配点した。

注3) 一人の回答者における6つの要素の合計点の最小値は6点、最大値は30点である。

【解説】人生100年時代を心豊かに生きるための6つの要素

文化・読書・スポーツの各分野の学識経験者及び専門家、区民、行政で構成する足立区文化・読書・スポーツ総合推進会議の検討の結果、「人生100年時代を心豊かに生きるために必要な要素」を以下の6つにまとめた。

- 1 自分のやりたいことに取り組もうとする意欲
- 2 何歳になっても知らないことを知り、学ぼうとする態度
- 3 新しいことにチャレンジし、始めようとする好奇心
- 4 異なる考え方や価値観を尊重しようとする姿勢
- 5 まわりの人の役に立とうとする気持ち
- 6 地域とのつながりを持とうとする思い

(2) 子どもの逆境を乗り越える力

小学5年生・中学1年生向け調査（保護者向け）

保護者は、文化分野とスポーツ分野における「行動層」の子どもの逆境を乗り越える力は、「無関心層」「関心層」よりも高いと考えている。

<子どもの逆境を乗り越える力の合計点の平均>

	文化	読書	スポーツ
無関心層	26.00	26.98	26.71
関心層	26.86	<u>29.51</u>	28.26
行動層	<u>28.39</u>	28.98	<u>28.68</u>

注1) 子どもの逆境を乗り越える力に該当する8項目を5段階で保護者に評価させた。

注2) 肯定的な回答の「まったくこのとおり」= 5点から、否定的な回答の「まったくちがう」= 1点を配点した。

注3) 一人の回答者における逆境を乗り越える力の合計点の最小値は8点、最大値は40点である。

【解説】子どもの逆境を乗り越える力について

文化・読書・スポーツそれぞれの関心・行動の度合いと、子どもの逆境を乗り越える力との関連性をみるために、「子どもの健康・生活実態調査」と同様の次の8項目（ ）について尋ねています。

- (1) 将来について、明るい面を言うことができる
- (2) 自分のベストを尽くそうとする
- (3) 馬鹿にされたり、悪口を言われても、うまく対処することができる
- (4) 他人にきちんと挨拶することができる
- (5) 大人が指示しなくとも、自ら学校の準備、宿題、家の手伝いができる
- (6) 必要な時には適切にアドバイスを求めることができる
- (7) 将来よい結果となるように、今欲しいものをあきらめたり、嫌なことでも実行することができる
- (8) 自分がわからなかったことを知るために、質問をすることができる

Devereux Students Strengths Assessment (DESSA)を参考に、東京医科歯科大学が開発した尺度 Children's Resilient Coping Scale (CRCS)を引用しています。

引用：Doi S, Fujiwara T, Ochi M, Isumi A, & Kato T. (2018). Association of sleep habits with behavior problems and resilience of 6- to 7-years-old children: Results from the A-CHILD study. *Sleep Med*, 45, 62-68.

(3) 子どもの自己評価・自己肯定感

小学5年生・中学1年生向け調査（子ども向け）

すべての分野における「行動層」は、「無関心層」「関心層」よりも自己評価・自己肯定感が高い。

<子どもの自己評価・自己肯定感の合計点の平均>

	文化	読書	スポーツ
無関心層	22.50	25.32	22.85
関心層	24.73	26.09	26.04
行動層	<u>26.63</u>	<u>26.88</u>	<u>27.45</u>

注1) 子どもの自己評価・自己肯定感に該当する10項目を4段階で子どもに自己評価させた。

注2) 肯定的な回答の「はい」= 4点から、否定的な回答の「いいえ」= 1点を配点した。

注3) 一人の回答者における自己評価・自己肯定感の合計点の最小値は10点、最大値は40点である。

【解説】子どもの自己評価・自己肯定感について

子どもの逆境を乗り越える力と同様に、文化・読書・スポーツそれぞれの関心・行動の度合いと、子どもの自己評価・自己肯定感との関連性をみるために、「子どもの健康・生活実態調査」と同様の次の10項目（ ）について尋ねています。

- (1) 自分に、自信がありますか
- (2) たいていのことは、人よりうまくできると思いますか
- (3) 自分には、人にじまんできるところがたくさんあると思いますか
- (4) 何をやってもうまくいかないような気がしますか
- (5) 今の自分に、まんぞくしていますか
- (6) 自分はきっと、えらい人になれると思いますか
- (7) 自分は、あまり役に立たない人間だと思いますか
- (8) 自分の意見は、自信をもって言えますか
- (9) 自分にはあまりいいところがないと思いますか
- (10) 失敗をするのではないかと、いつも心配ですか

児童用コンピテンス尺度の「自己価値」を引用しています。

引用：桜井茂男（1992）. 小学校高学年における自己意識の検討. 実験社会心理学研究, 32, 85-94.

桜井茂男（2007）. 児童用コンピテンス尺度 桜井茂男・松井豊(編). 心理測定尺度集 : 子どもの発達を支える<対人関係・適応>. サイエンス社, 東京, pp.22-27.

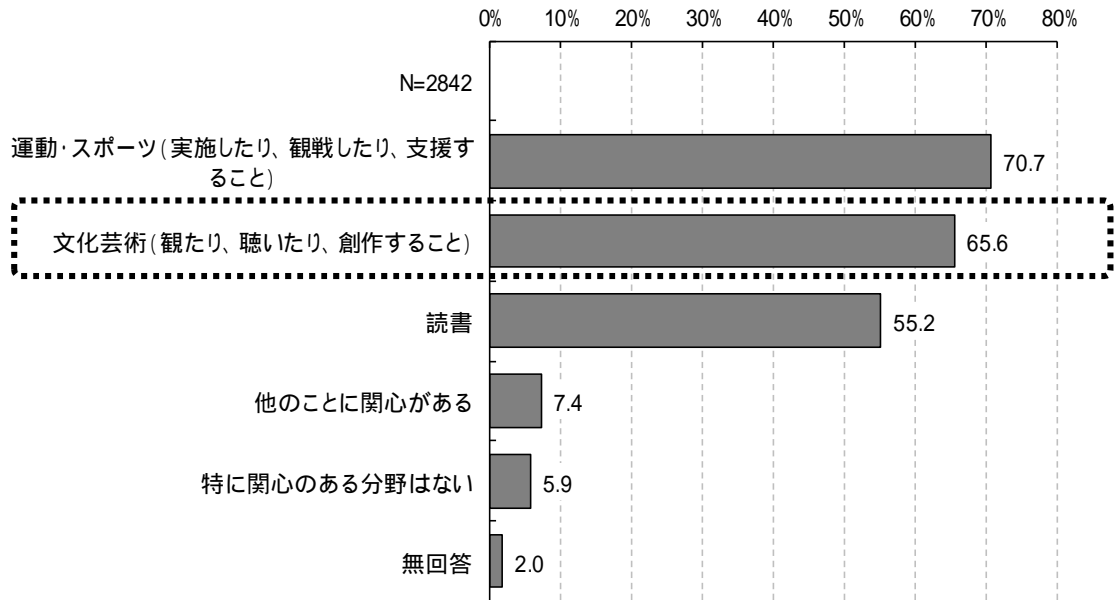
3 文化分野に関する集計・分析結果

(1) 一般区民の文化芸術の実態

一般区民向け調査

文化芸術に関心のある人は65.6%で、東京都の調査^{注1)}とほぼ同様の割合となっている。

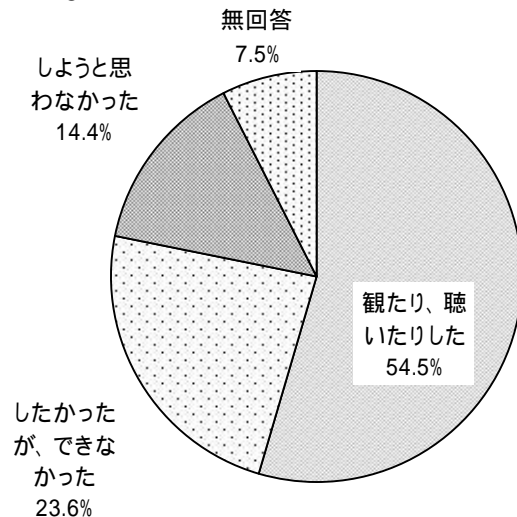
注1)文化に関する世論調査【都】(平成29年):芸術や文化を鑑賞したり、文化イベントに参加することに興味・関心があると回答した人は67.5%



<文化・読書・スポーツに対する関心の有無>

過去1年間に文化ホールや美術館、博物館、劇場、映画館などに出かけて文化芸術を鑑賞した人は54.5%と、全国調査^{注2)}とほぼ同様の割合だが、東京都の調査^{注3)}と比べるとやや下回っている。

N=2842



注2)文化に関する世論調査【全国】(平成28年):過去1年間で文化芸術を直接鑑賞したと回答した人は59.2%

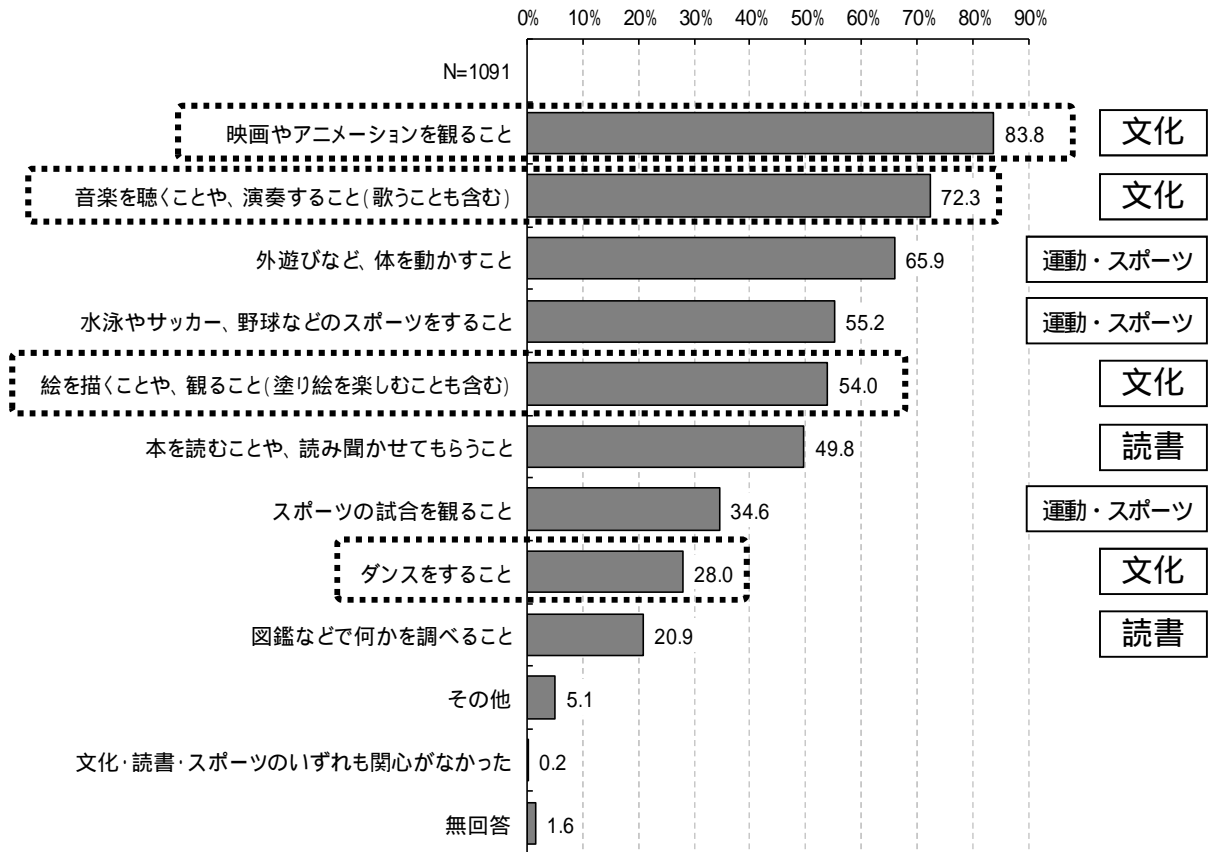
注3)文化に関する世論調査【都】(平成29年):過去1年間に芸術や文化を鑑賞したり、文化イベントに参加したと回答した人は72.6%

<文化芸術の鑑賞の有無>

(2) 子どもの文化芸術の実態

小学5年生・中学1年生向け調査（子ども向け）

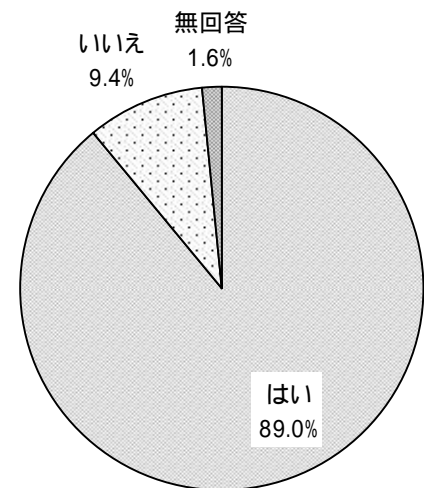
子どもの文化芸術への関心をみると、「映画やアニメーションを観ること」が最も高く、ついで「音楽を聴くことや、演奏すること(歌うことも含む)」「絵を描くことや、観ること(塗り絵を楽しむことも含む)」「ダンスをすること」となっている。



<子どもの文化・読書・スポーツに対する関心の有無>

過去1年間で、学校行事以外で文化ホールや美術館、映画館などに出かけて、文化芸術を鑑賞した子どもは89.0%となっている。

N=1091

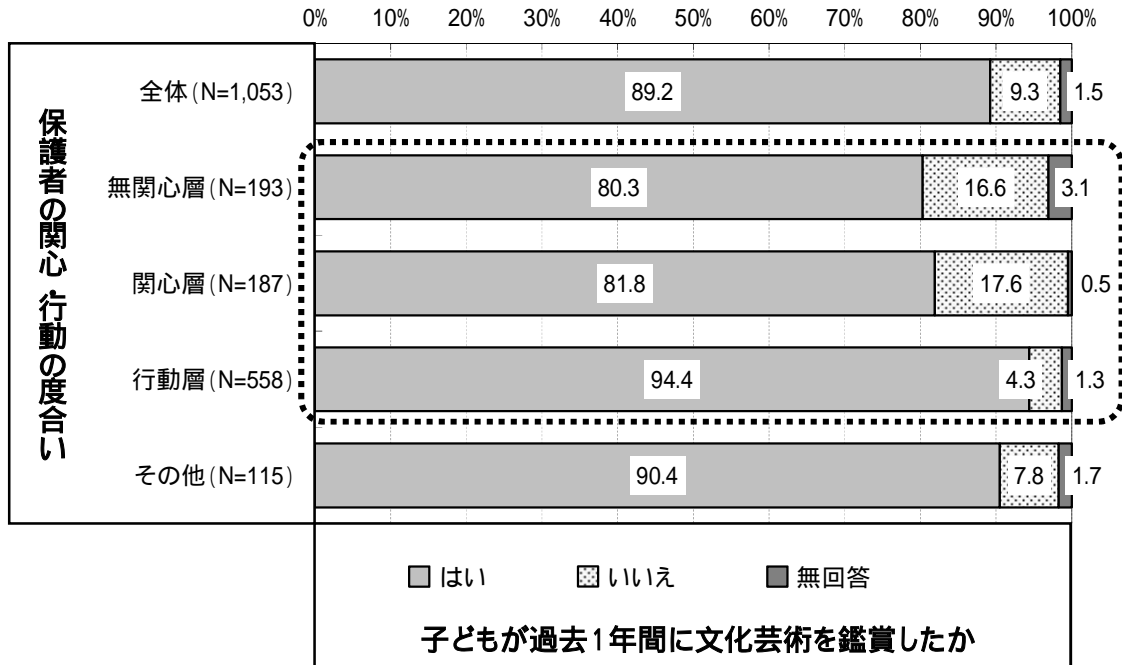


<子どもの文化芸術鑑賞の有無>

(3) 保護者と子どもそれぞれの文化芸術に対する関心・行動の関連性

小学5年生・中学1年生向け調査（保護者向け・子ども向け）

保護者の文化芸術への関心・行動の度合いが高いほど、子どもが過去1年間に文化芸術を鑑賞した割合が多い。

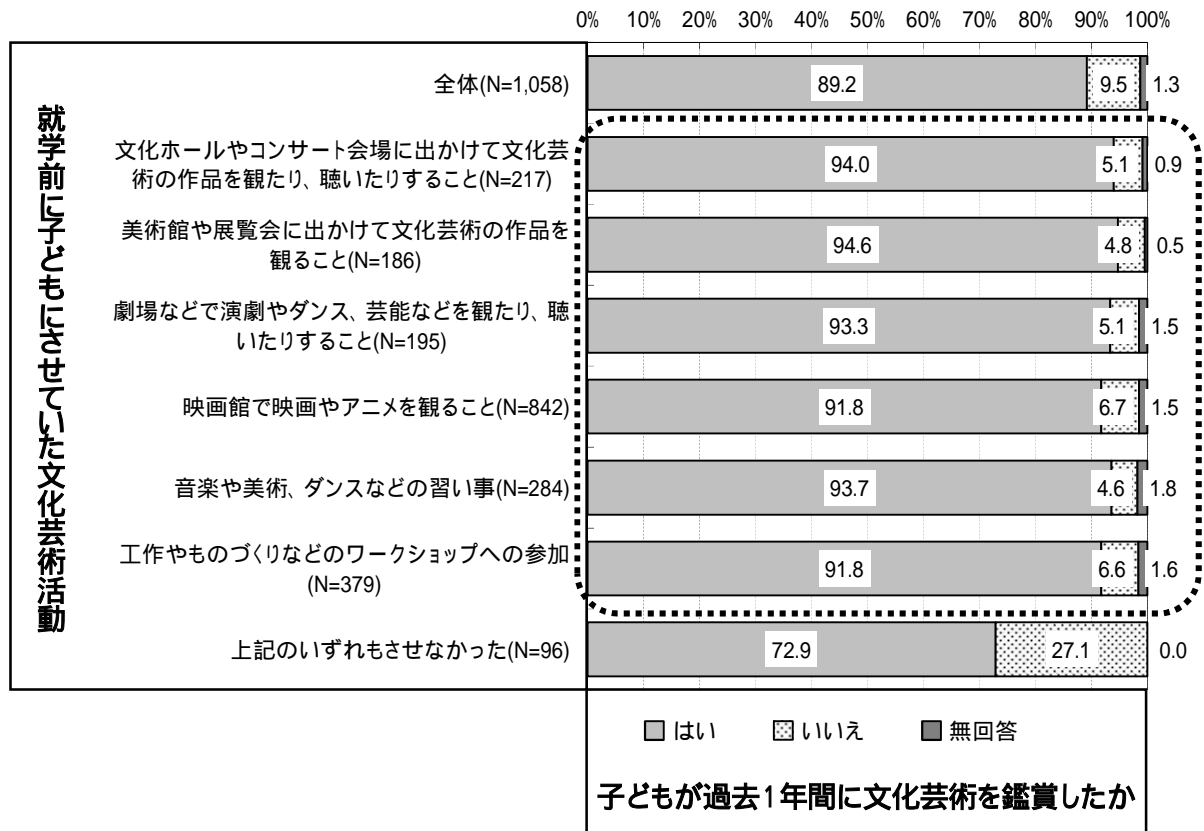


< 保護者と子どもそれぞれの文化芸術に対する関心・行動の関連性 >

(4) 子どもにおける幼少期と現在の文化芸術の関連性

小学5年生・中学1年生向け調査（保護者向け・子ども向け）

就学前に文化芸術に親しんでいた子どもほど、現在も文化芸術を鑑賞している傾向にある。



< 子どもにおける幼少期と現在の文化芸術の関連性 >

(5) 関心・行動別にみた文化芸術につながるきっかけや施策

一般区民向け調査

小学5年生・中学1年生向け調査（子ども向け）

一般区民についてみると、無関心層、関心層、行動層のいずれにおいても「手ごろな料金であれば」「身近な場所があれば」「行きやすい時間帯であれば」など、場所・料金・時間に関するニーズが多くなっている。

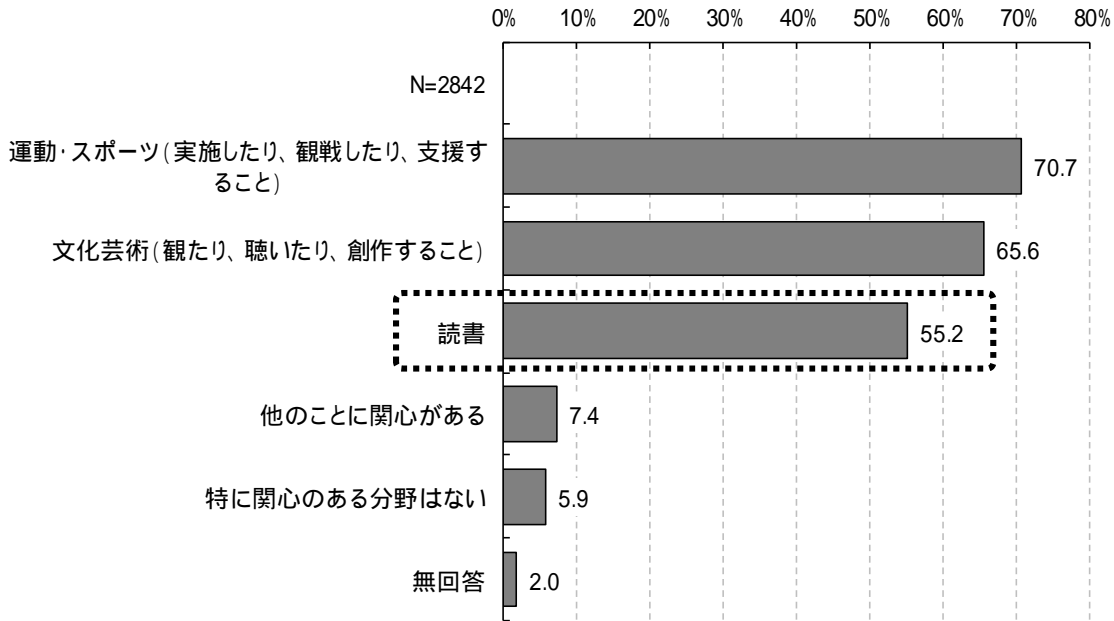
子どもについてみると、関心層が鑑賞するきっかけとしては、「無料であれば」（44.4%）、「学校や児童館など、近所であれば」（37.4%）、「親に連れて行ってもらえれば」（34.3%）が多くなっている。

4 読書分野に関する集計・分析結果

(1) 一般区民の読書活動の実態

一般区民向け調査

読書に関心のある人は55.2%となっている。

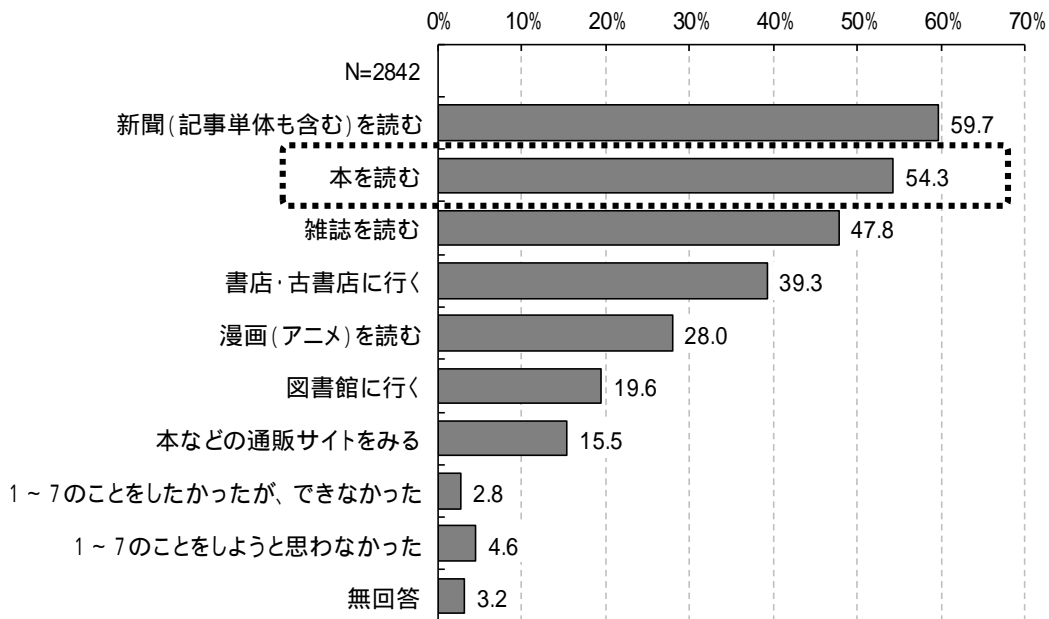


<文化・読書・スポーツに対する関心の有無>

過去1か月間に本を読んだ人は54.3%で、全国調査^{注1、2)}とほぼ同様の割合となっている。

注1) 読書世論調査【全国】(平成29年): 日ごろ書籍を読むと回答した人は45.0%

注2) 国語に関する世論調査【全国】(平成25年度): 1ヶ月に1冊以上本を読む人は52.5%

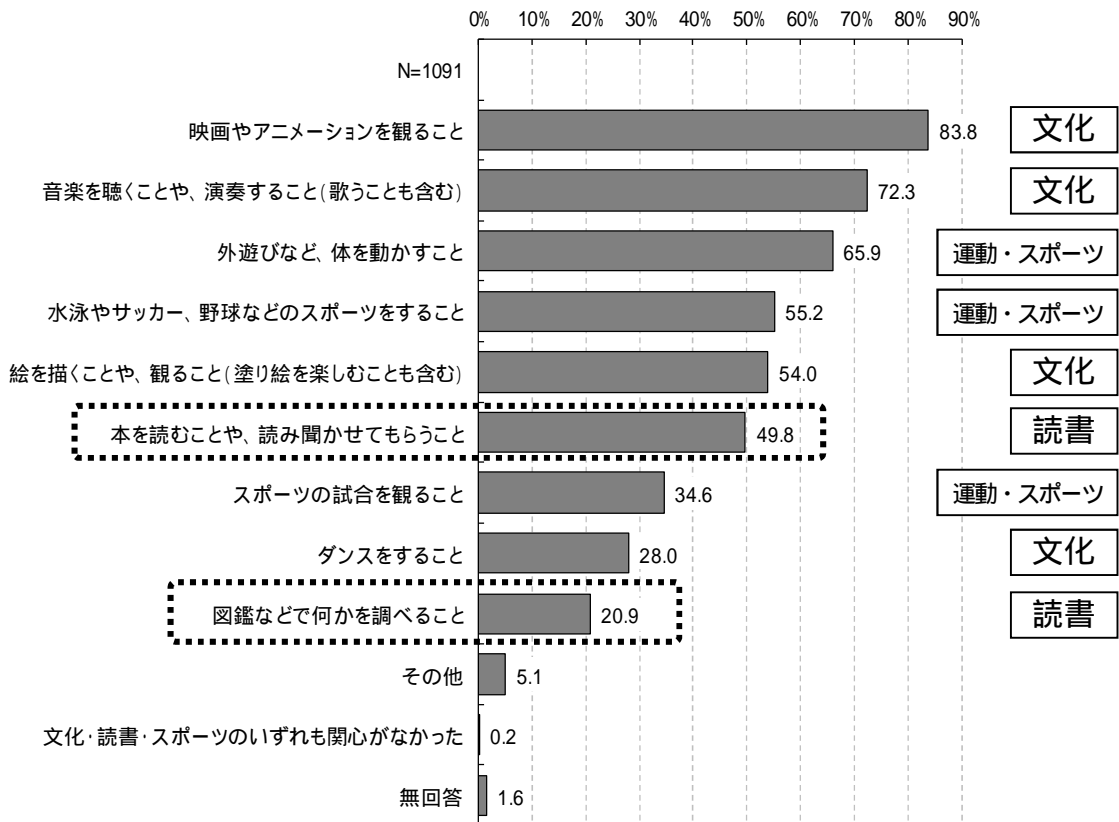


<読書活動の有無>

(2) 子どもの読書活動の実態

小学5年生・中学1年生向け調査（子ども向け）

子どもの読書活動への関心をみると、「本を読むことや、読み聞かせてもらうこと」が最も高く、ついで「図鑑などで何かを調べること」となっている。

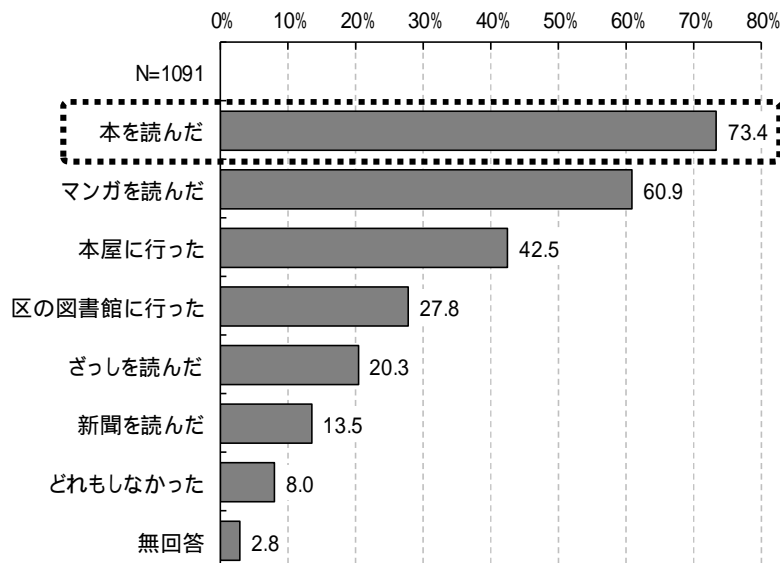


<子どもの文化・読書・スポーツに対する関心の有無>

過去1ヶ月間で本を読んだ子どもは73.4%で、全国^{注1)}および東京都^{注2)}と比較すると低くなっている。

注1) 学校読書調査[全国](平成29年): 1ヶ月(5月)に本を読んだ小学生は92.7%、中学生は84.3%

注2) 読書状況調査[都](平成29年度): 1ヶ月間(8~9月)に本を読んだ小学5年生は94.9%、中学1年生は84.5%



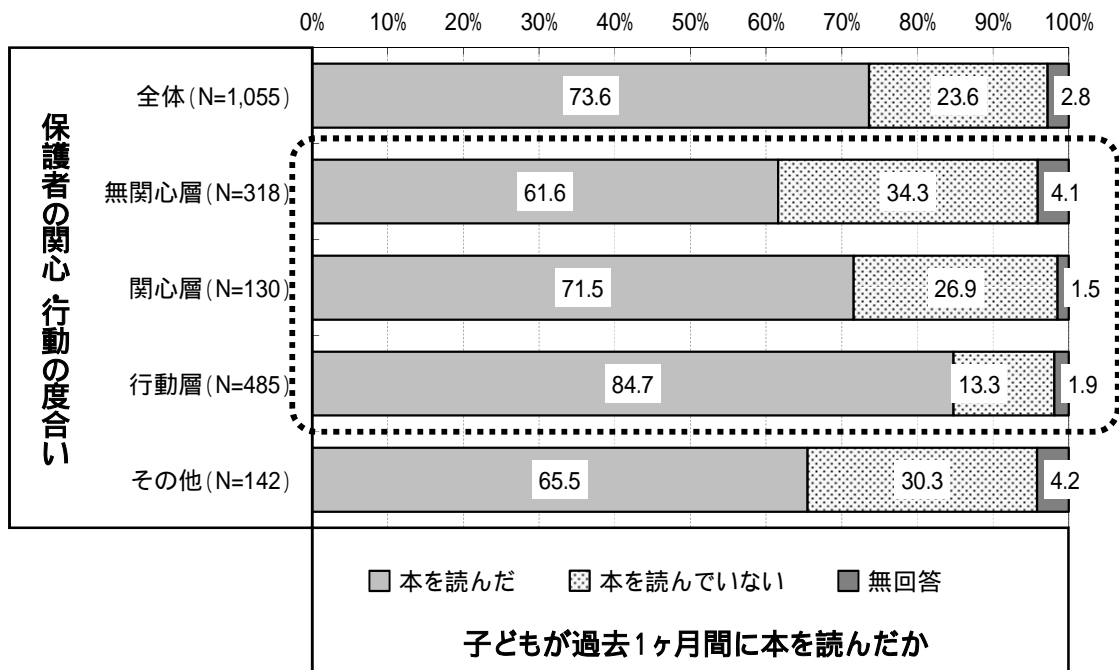
<子どもの読書活動の有無>

(3) 保護者と子どもそれぞれの読書に対する関心・行動の関連性

小学5年生・中学1年生向け調査（保護者向け・子ども向け）

保護者が読書に関心を持ち、本を読んでいる場合には、過去1ヶ月に本を読んだ子どもが多くなっている。

就学前に本を読んでいたという子どもが9.3%いる。保護者が読書に関心がない（無関心層）場合は16.4%に増える。

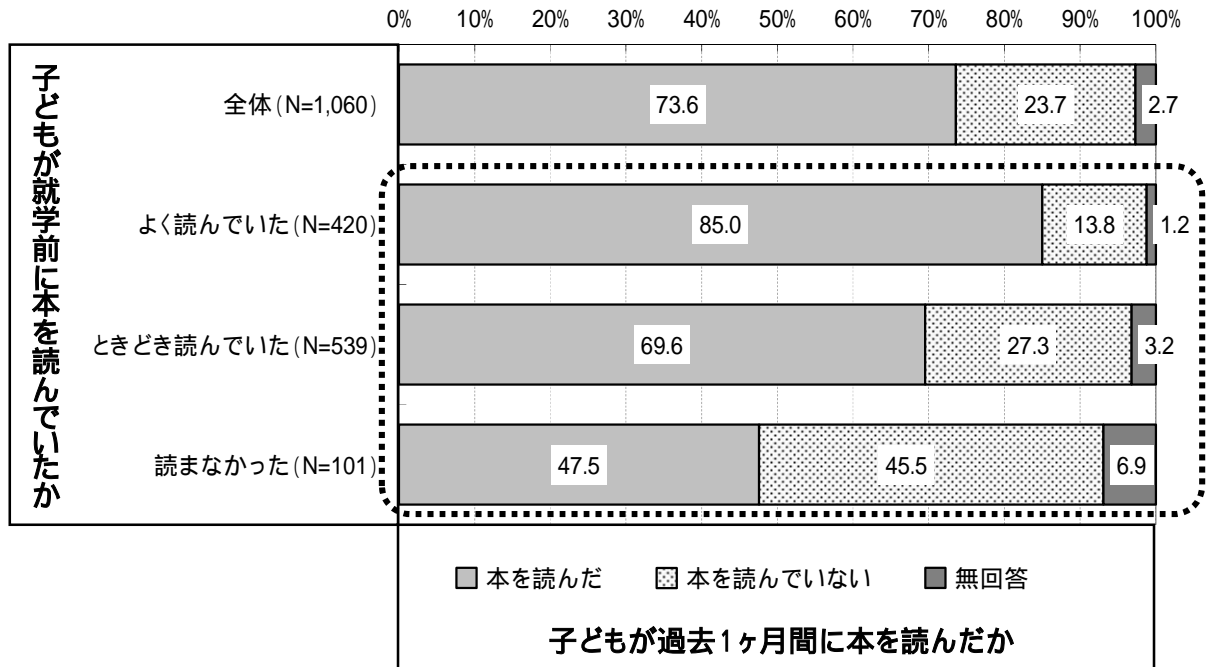


< 保護者と子どもそれぞれの読書に対する関心・行動の関連性 >

(4) 子どもにおける幼少期と現在の読書の関連性

小学5年生・中学1年生向け調査（保護者向け・子ども向け）

就学前に本を読んでいた子どもほど、現在も本を読んでいる傾向にある。就学前に本を読まなかった子どものうち過去1ヶ月に本を読んだ子どもが47.5%であるのに対して、就学前によく読んでいた子どもでは85.0%である。



< 子どもにおける幼少期と現在の読書の関連性 >

(5) 関心・行動別にみた読書につながるきっかけや施策

一般区民向け調査

小学5年生・中学1年生向け調査（子ども向け）

一般区民についてみると、関心層では、「子どもの頃から読書の楽しさを教える」(41.0%)、「子どもの頃に本を読む機会をつくる」(40.4%)であった。

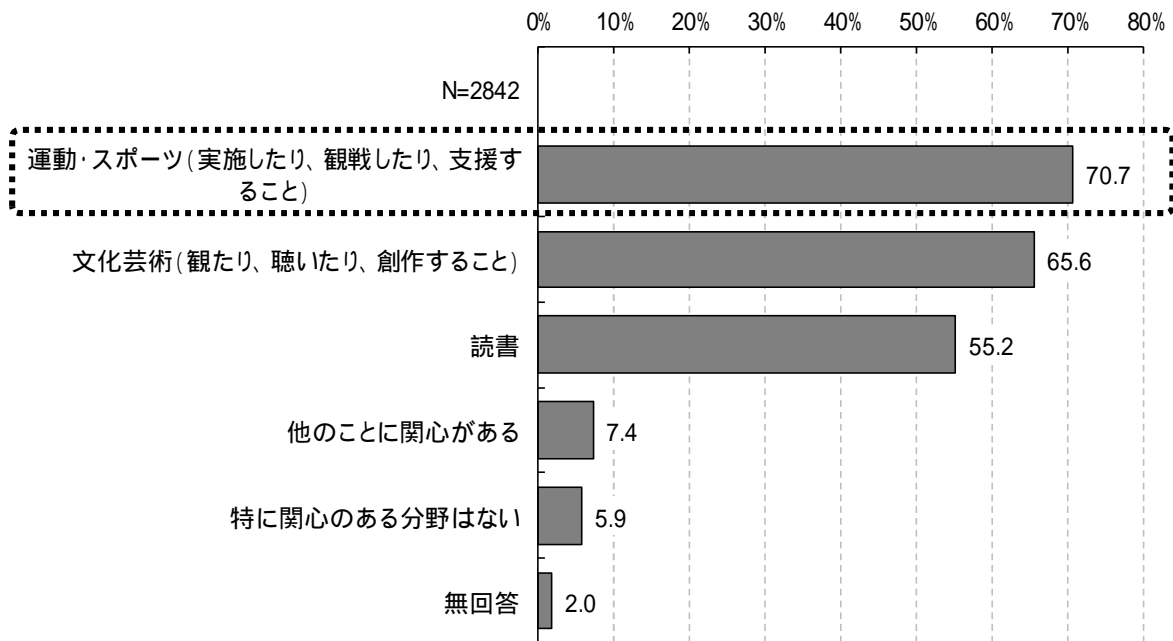
子どもについてみると、無関心層が本を読むようになるきっかけとしては、「図書館に読みたい本がある」(21.9%)が多くなっている。

5 スポーツ分野に関する集計・分析結果

(1) 一般区民の運動・スポーツの実態

一般区民向け調査

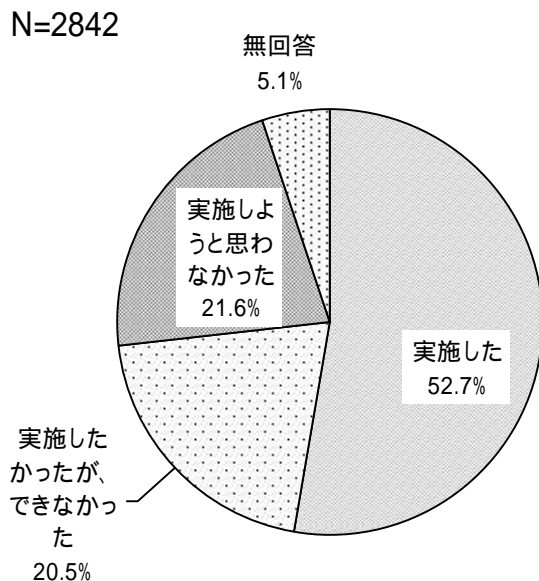
運動・スポーツに関心のある人は70.7%となっている。



<文化・読書・スポーツに対する関心の有無>

過去1年間に運動・スポーツを実施した人(16歳以上)は52.7%となっている。週に1日以上運動・スポーツを実施した人は16歳以上で35.9%、成人に限定すると34.1%で、東京都^{注1)}及び全国^{注2)}の調査と比べると低くなっている。

注1) 都民のスポーツ活動・パラリンピックに関する世論調査[都](平成29年):週に1日以上スポーツを実施した人は56.3%
 注2) スポーツの実施状況等に関する世論調査[国](平成29年):週に1日以上スポーツを実施した人は成人で51.5%

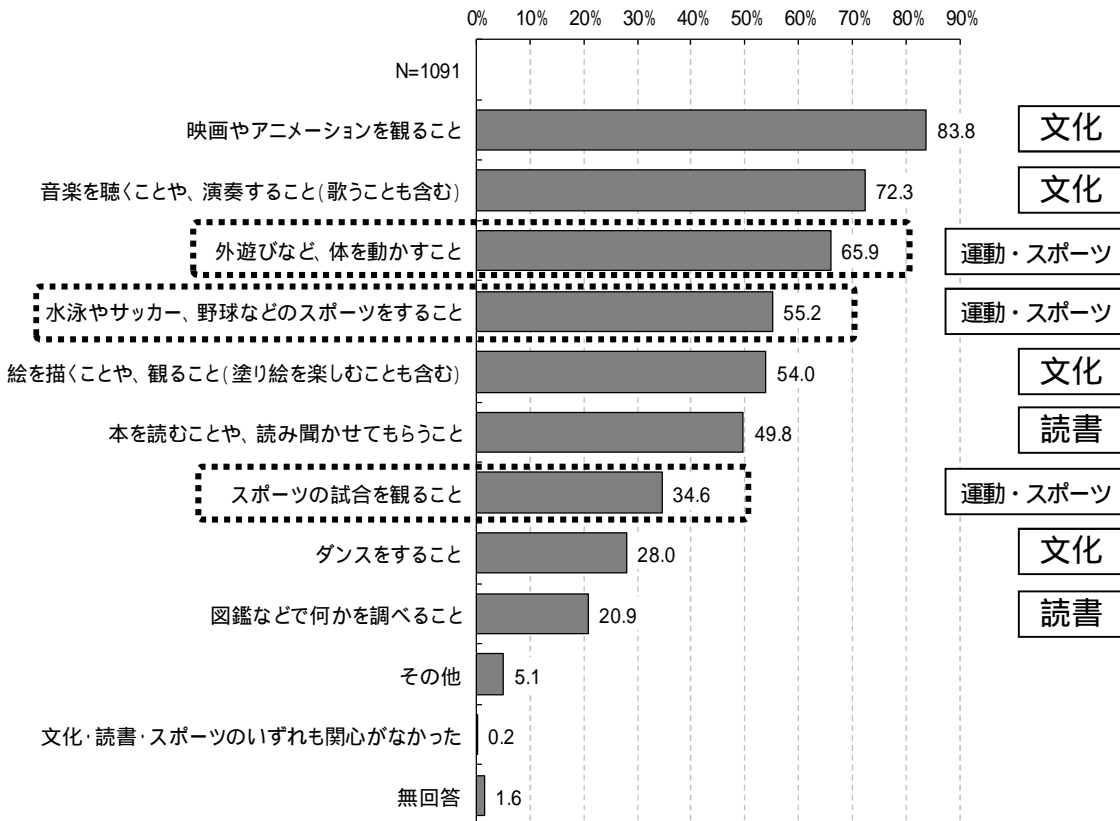


<運動・スポーツ実施の有無>

(2) 子どもの運動・スポーツの実態

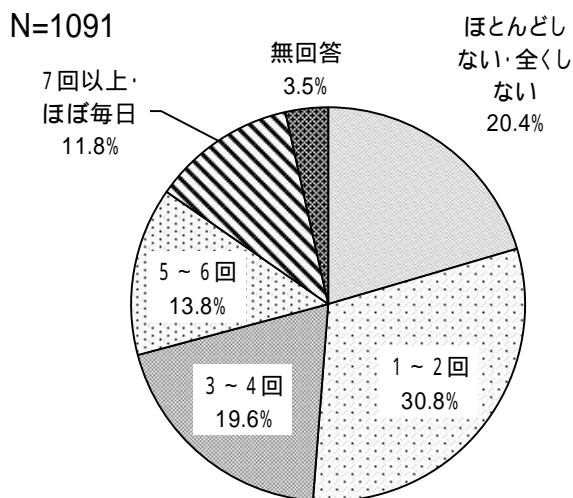
小学5年生・中学1年生向け調査(子ども向け)

子どもの運動・スポーツへの関心をみると、「外遊びなど、体を動かすこと」が最も高く、ついで「水泳やサッカー、野球などのスポーツをすること」「スポーツの試合を観ること」となっている。



<子どもの文化・読書・スポーツに対する関心の有無>

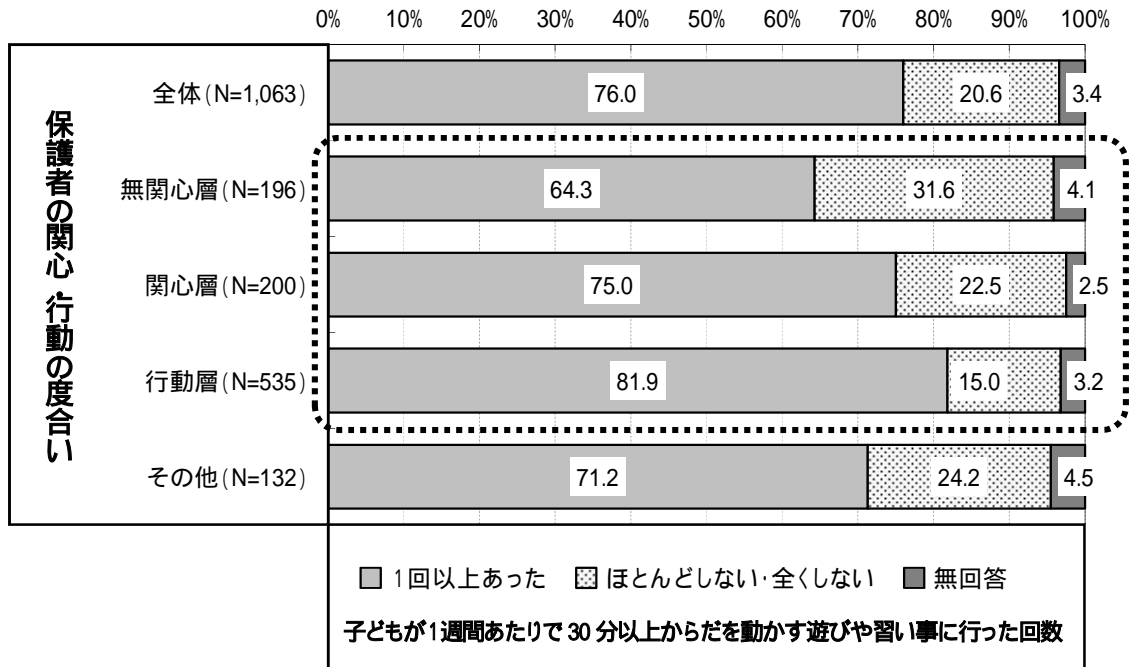
学校以外で30分以上からだを動かす遊びや習い事に行くことを「ほとんどしない・全くしない」子どもは20.4%となっている。



<子どもの運動・スポーツ実施の有無>

(3) 保護者と子どもそれぞれの運動・スポーツに対する関心・行動の関連性
 小学5年生・中学1年生向け調査（保護者向け・子ども向け）

保護者が運動・スポーツに関心を持ち、行動している場合には、学校以外で30分以上からだを動かす遊びや習い事に行く子どもが多い。

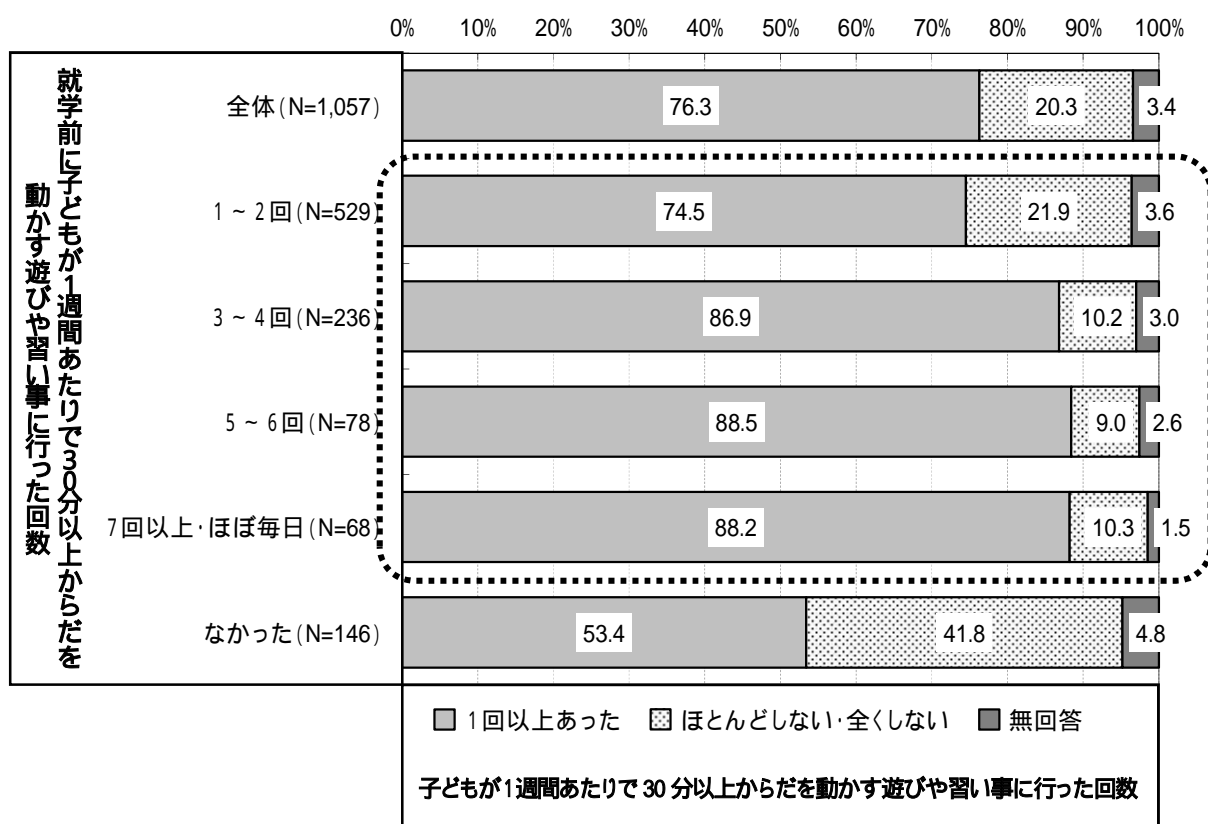


< 保護者と子どもそれぞれの運動・スポーツに対する関心・行動の関連性 >

(4) 子どもにおける幼少期と現在の運動・スポーツの関連性

小学5年生・中学1年生向け調査（保護者向け・子ども向け）

就学前に運動・スポーツを実施していた子どもほど、現在も実施している傾向にある。



< 子どもにおける幼少期と現在の運動・スポーツの関連性 >

(5) 関心・行動別にみた運動・スポーツにつながるきっかけや施策

一般区民向け調査

小学5年生・中学1年生向け調査（子ども向け）

一般区民についてみると、「無関心層」「関心層」「行動層」のいずれにおいても「身近な場所で実施できる」という回答が最も多く、ついで、「手ごろな価格で施設を利用できる」「レベルを気にせず参加できる機会がある」が多くなっている。

6 3分野を横断した分析

(1) 読書と他分野との連携に向けた分析

一般区民向け調査

読書分野の行動層のうち、文化・スポーツ分野の関心層は約2割である一方で、文化・スポーツ分野の行動層のうち、読書分野の関心層は約1割であった。

つまり、読書の行動層は、文化芸術の鑑賞や運動・スポーツに対して一定の興味・関心を抱いており、何らかのきっかけ、働きかけ次第で、行動層へ移行する可能性があると言える。

- ア **読書分野**の行動層における、**文化・スポーツ分野**への関心・行動の度合い
無関心層よりも**関心層**（約2割）の方が多い。

	合計	文化の関心・行動の度合い				
		無関心層	関心層	行動層	その他	無回答
読書の行動層	(N = 1230)	9.3	18.8	62.6	6.7	2.5

< **読書**の行動層からみた**文化**の関心・行動の度合い >

	合計	スポーツの関心・行動の度合い				
		無関心層	関心層	行動層	その他	無回答
読書の行動層	(N = 1230)	16.8	19.7	56.6	4.6	2.4

< **読書**の行動層からみた**スポーツ**の関心・行動の度合い >

- イ **文化・スポーツ分野**の行動層における、**読書分野**への関心・行動の度合い
関心層（約1割）よりも**無関心層**の方が多。

	合計	読書の関心・行動の度合い				
		無関心層	関心層	行動層	その他	無回答
文化の行動層	(N = 1282)	16.8	11.9	60.1	10.3	0.9

< **文化**の行動層からみた**読書**の関心・行動の度合い >

	合計	読書の関心・行動の度合い				
		無関心層	関心層	行動層	その他	無回答
スポーツの行動層	(N = 1321)	23.2	10.6	52.7	11.4	2.1

< **スポーツ**の行動層からみた**読書**の関心・行動の度合い >